

分野	授業科目	単位(時間)	進 度	担 当
専門分野	基礎看護学概論	1 (30)	1年前期	小豆嶋 ひふみ 実務経験あり
科目目的	看護の概念を理解し、総合保健医療の中での看護の位置づけ、機能と役割を学び、専門性について理解する。			
科目目標	1. 看護の定義や役割・機能を理解し、看護学の基礎知識を得る。 2. 看護の対象である生活者の理解や、保健医療福祉の中での看護の位置づけを理解する。 3. 看護の専門性について追究し、看護師としての基本的な考え方を身につける。			
単 元 名	教 育 内 容	時間	教育方法	留意点
1. 看護学の構成	1) 看護学の構成	6	講義	看護学の動機づけとなるよう講義する。他の科目との関連について解説する。理論家の看護の定義を知り看護への興味を深める。本校における看護過程についてふれる。 倫理学と関連性を持ち看護の本質にふれる。
2. 看護とは	2) 基礎看護学の位置づけ			
3. 看護の対象の理解	1) 看護の変遷と定義 看護の歴史、看護理論家の考え (ナイチンゲール、ヘンダーソン、オレム、トラベルビー、ロイ、ベナーなど)	6	講義	
	2) 看護の役割と機能、継続性、連携 ・看護過程とクリティカルシンキング ・ゴードンの11の機能的健康パターン			
4. 看護における倫理	1) 看護の対象としての人間 (マズローの欲求段階説・危機理論)	4	講義	
	2) 人間の「暮らし」の理解 ・生活者としての人間			
5. 健康のとりえ方と国民の健康状態	3) 看護の対象としての家族・集団・地域	4	講義	
	1) 職業倫理としての看護倫理 ・患者の権利とインフォームドコンセント ・守秘義務の遵守と個人情報保護 ・看護実践における倫理問題への取り組み			
6. 看護の提供者	2) 社会状況と医療の変化	2	講義	
	3) 生活と健康に関する統計 ・ライフサイクル・ライフイベント・ライフコース ・出生率、死亡率、罹患率、人口動態他			
7. 看護の提供のしくみ	1) 職業としての看護	4	講義	
	2) 看護職の養成制度と就業状況			
8. 広がる看護の活動領域	3) 看護職者の教育とキャリア開発	2	講義	
	1) サービスとしての看護 2) 看護をめぐる制度と政策 3) 看護サービスの管理 4) 医療安全と医療の質の保証			
9. まとめと試験	1) 国際化と看護 2) 災害時における看護	2		国際看護・災害看護については専門分野で更に深く学習する。
テキスト／その他の教材	系統看護学講座「看護学概論」(医学書院) 「看護覚え書」(現代社) 「看護の基本となるもの」(日本看護協会出版会) 資料			
評価方法	筆記試験(80点)とレポート等から(20点)総合的に評価する			